

## 第66回 近畿中学校総合体育大会柔道競技要項

1. 目的 近畿中学校の生徒に広く柔道実践の機会を与え、力と技と武道精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学校生徒を育成すると共に、武道(柔道)の普及・振興と中学生相互の親睦を図るものである。
2. 主催 近畿中学校体育連盟・近畿各府県教育委員会・京都府教育委員会・京都市教育委員会
3. 主管 京都府中学校体育連盟・京都府中学校体育連盟柔道専門部
4. 後援 近畿柔道連盟・京都府柔道連盟
5. 期 日 平成29年8月7日(月) 開 会 式 11:30  
個人戦競技開始 12:00  
8月8日(火) 開始式・団体戦競技開始 9:50
6. 会 場 京都市武道センター  
〒606-8323 京都市左京区聖護院円頓美町46-2 Tel (075) 751-1255  
◎京都市営バス「熊野神社前」下車、東へ 約200m  
◎阪神高速8号京都線「鴨川東IC」から車で約10分  
◎京阪鴨東線「神宮丸太町駅」下車 徒歩約10分  
◎地下鉄東西線「東山駅」下車 徒歩約10分
7. 日 程 (1) 平成29年8月7日(月)・・・[大会1日日]  
8:30～ 9:00 役員・審判受付(1階)  
9:00～ 9:30 選手・監督受付(2階)  
9:30～10:00 非公式計量(仮計量)  
10:00～10:30 個人(男女)計量・柔道衣点検(武徳殿・更衣室)  
10:30～11:00 団体(男女)計量・柔道衣点検(武徳殿・更衣室)  
※男子計量は向かいの武徳殿・女子は男子更衣室で行います。

9:00～10:00 審判会議(1F会議室)

参加者:各府県審判員・各府県専門委員長

10:15～10:45 監督会議(1F補助競技場)

参加者:各府県専門委員長・監督

※コーチの参加は認めない。

11:30～11:50 開会式  
12:00～16:00 男女個人戦  
16:00～ 個人戦表彰式

(2) 平成29年8月8日(火)・・・[大会2日日]

8:30～ 開場  
8:30～ 9:00 団体登録選手変更受付および柔道衣変更受付  
8:30～ 9:10 変更選手と柔道衣変更者のみ計量および柔道衣点検  
9:00～ 9:20 審判会議(1F補助競技場)  
9:20～ 9:45 男女団体戦登録選手変更届提出  
9:50～ 開始式後、女子団体戦  
昼食休憩  
女子団体戦終了50分後 男子団体戦  
～16:00 閉会式(団体戦表彰式)

☆計量について☆

公式計量時間の30分前（9：30～10：00）より非公式計量(仮計量)を行う。

- ・非公式計量では、時間内に自由に体重を測定することができる。
- ・個人戦、団体戦の両方に出場する選手は、2回計量を受けること。

◇個人戦、団体戦計量の統一事項

- ・公式計量は1回である。（再計量は一切認めない。）
- ・公式計量は本大会で指定された時間内に終了すること。
- ・計量の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみ着用とする。  
※下着は認める。包帯、サポーター等の着用は一切認めない。
- ・計量を受けなかった場合は大会出場を認めない。

◇個人戦計量の注意事項

- ・公式計量において、定められた階級の体重区分にない者は失格とする。  
※柔道着の重さは含まない。  
別室計量を希望する選手は、係員に申し出ること。

◇団体戦計量の注意事項

- ・チームごとに選手全員が計量を行うこと。
- ・順番の入れ替え等があった場合は監督に通知する。

8. 参加資格 参加者は、各府県中学校体育連盟加盟校に在学し、第66回近畿中学校総合体育大会柔道競技の大会要項11(1)により大会参加資格を得て、当該学校長の承認を得たチーム及び個人とする。
9. 監督及び引率者 参加生徒の監督・引率者は、出場校の校長および教員であること。  
※個人戦のみ、引率者としての外部指導者を認めるので、平成29年8月1日（月）までに手続きを行うこと。
10. コーチ コーチの条件は次の通りである。  
①当該校の校長が認めた成人。  
②年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。  
③中体連の大会運営に関して理解を示し、なお且つ協力的な者。  
④外部コーチは、中学校の教職員でないこと。  
⑤審判員に準じた服装をすること。  
※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせることもある。
11. 参加規定 (1) 府県代表または府県中学校体育連盟の推薦を受けた中学校及び個人とする。  
(2) 団体戦は、男女各府県3校の合計36校とする。  
①団体戦のチーム構成  
(男子) 1チームの人員は、監督(当該校長・教員)1名、コーチ1名以内、選手7名以内とし、試合ごとに選手の位置を変えることはできない。  
チームの編成は、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成すること。補欠を選手として繰り入れる場合も、大将以下順次体重順に編成すること。  
※一度退いた選手は、一連の試合には再び出場できない。

(女子) 1チームの人員は、監督(当該校長・教員)1名、コーチ1名以内、選手4名以内とし、試合ごとに選手の位置を変えることはできない。  
チームの編成は、体重の最も重い者を大将とし、以下順次体重順に編成すること。補欠を選手として繰り入れる場合も、大将以下順次体重順に編成すること。

※一度退いた選手は、一連の試合には再び出場できない。

(3) 個人戦は、男女各府県(男子8階級、女子8階級)2名ずつの合計192名とする。

(男子) 50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級

(女子) 40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級

(4) 参加者は、平成29年度近畿中学校総合体育大会(夏季大会)に、1人1種目の出場であること。(他の種目には出場できない。)

12. 競技規則
- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2017年施行の新ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
  - (2) 柔道衣は白色とし、IJF・全日本柔道連盟柔道衣規格の柔道衣(赤ラベル)を着用すること。ゼッケン(学校名・名字入り)を縫いつけて出場すること。  
※ゼッケンのサイズ等は、全国中学校柔道大会の規定に準ずる。
  - (3) 公益財団法人、講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯は白線入りも可とする。
  - (4) 女子は上衣の下に白色、又は白に近い色の半袖の無地のTシャツ又はレオタードを着用すること。※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

13. 競技方法
- (1) 団体戦
    - ①男女とも18チームによるトーナメント戦を行う。
    - ②勝敗は、次の方法によって決定する。
      - ア、チーム間における勝ち数による。
      - イ、アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
      - ウ、イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
    - ③チーム編成は、男女とも、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
    - ④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
    - ⑤勝敗の判定基準は「一本」「技有」又は「僅差」(指導2)以上とする。
    - ⑥優劣の成り立ちは下記の通りとする。  
「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
    - ⑦代表戦は任意の選手とし判定基準は団体戦と同様とするが3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
  - (2) 個人戦
    - ①男女とも各階級12名によるトーナメント戦を行う。
    - ②試合時間は、3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
    - ③勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「反則負け」(指導3)とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。技によるスコアが与えられた時点で試合は終了する。また相手よりも多くの「指導」を与えられた場合も試合終了とする。

14. 表彰参加賞 (1) 団体戦・個人戦ともに1位～3位までを表彰する。  
(2) 本大会登録選手（団体・個人）全員に参加賞を授与する。
15. 参加申込 (1) 選手申込は、所定の用紙により1部提出する。  
(2) 申込締切日：平成29年8月1日（火）のプログラム編成会議に各府県委員長が持参すること。
16. 選手変更 (1) 団体戦・・・選手申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、当該学校長から変更届を提出すること。変更届は大会1日目の受付時に提出すること。  
なお、1日目個人戦での負傷等で選手変更をする場合および2日目の柔道衣を変更する者は、8：30～9：00の間に変更届を提出し、9：10までに柔道衣点検と計量を受けること。  
(2) 個人戦・・・選手申込書提出後、理由を問わず選手の変更は認めない。
17. 宿泊 各校の宿泊については、別紙宿泊要項により斡旋するので、所定の用紙により申し込むこと。
18. その他 (1) 大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。参加者は保険証を持参し、補償措置は日本体育・学校健康センター法の定めを適応する。  
(2) 大会2日目は監督会議を行わないので、各府県専門委員長より前日の審判・監督会議の申し合わせ事項等を確認すること。  
(3) 開会式・表彰式・開始式・閉会式には次の学校・選手が参加すること。  
1日目 開会式：団体戦参加校、個人戦参加選手  
表彰式：個人戦各階級入賞者（1位～3位）  
2日目 開始式：男女団体戦出場校  
閉会式：団体戦入賞校（1位～3位）  
(4) 台風等で警報が出そうな場合は、大会日程を1日で行う場合もある。  
(5) その他、諸問題が生じた場合は、専門委員長会議で審議し決定する。  
(6) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚感染症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。  
(7) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。  
①大会1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医の精査を受けること）  
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
④当該選手の指導者は大会事務局に対し、書面により事故報告を提出すること。
19. 連絡先 〒616 - 8313 京都市右京区嵯峨野開町1-1  
TEL 075-861-2168  
FAX 075-861-2169  
Mail : h-morikawa@edu.city.kyoto.jp  
京都市立蜂ヶ岡中学校内  
第66回近畿中学校柔道大会実行委員会 森川 半四郎